総合診療科

★診療科概要

島根県立中央病院の総合診療科は、医学が細分化および専門分化している昨今、患者さんを人間として、全人的に、総合的にみることを目的として平成6年4月に開設された。開設当初は2名のスタッフでしたが、現在では月曜日から金曜日 3 から4診体制で診療を行っています。

★対象患者

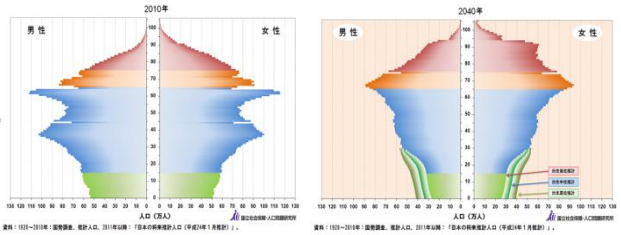
·他の病院などから紹介状をもらわずに来院したとか、特にみてもらいたい診療科がはっきりしない患者さん
·他の病院などからの総合診療科への紹介状を持って来院した患者さん
·各種の健康診断、予防接種、禁煙を希望される方
·人間ドック、各種の健康診断等で再検査ないし精密検査が必要と言われた方

このような患者さんを診察して、必要に応じて検査や他の診療科に診察依頼をしながら診断し、治療している。結果的には気管支炎、肺炎、感染性胃腸炎等の治療、高血圧症、高脂血症、脂肪肝等といった生活習慣病の指導、心身症等の診断とケア等が仕事の多くをしめている。

しかしながら、時には心筋梗塞、肺梗塞といったすぐに入院して精密検査を要する病気であったり、手術が必要な悪性腫瘍などの患者さんもおられ、その方に最もふさわしい診療科に紹介している。

さらに、地域医療科と連携して地域医療機関の代診業務、こころの医療センターの内科診療等の地域医療支援を行っている。

今後の医療を取り巻く環境について



高齢者人口の増加

✓現在　高齢化率 23%→4-5 人に 1 人

✓2040 年　高齢化率 35%　高齢化率 35%→3 人に 1 人

複数疾患を抱える方が増えてくる

そこで総合医の出番です！

✔幅広く診察する事で、
より迅速的確に鑑別診断ができる

✔複数疾患を持つ患者さんを 1 人の医者が
マネージジメントできると患者の便利性も
高まる

2025 年問題　あと 6 年しかありません！

＝多死時代を迎える＝

団塊の世代 800 万人が 2025 年頃までに後期高齢者になる事で医療費の急増、医療資源の不足が懸念される問題

✓現在　130 万人/年

✓2040 年　170 万人/年

現在病院で亡くなられる方-　約 8 割

余命が限られた場合自宅で過ごしたい人-　約 8 割

実はそんな先の問題でもありません！

✔cure のみではなく care も
→NBM（Narrative-based medicine）

✔地域包括医療・ケア

≪島根県の特徴≫

①高齢化率が高い　34.0%
全国3位（H30.10.1）

②医師不足
医師数密度：28 人/100 平方キロメートル
（全国平均約 78 人）
必要求人医師数：1.24 倍（全国1位）

総合診療科ではこんな疾患が診られます

（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）

外来患者主病名ICD-10	
症状,徴候および異常臨床所見·異常検査所見で他に分類されないもの	926
筋骨格系および結合組織の疾患	889
呼吸器系の疾患	775
循環器系の疾患	733
内分泌,栄養および代謝疾患	543
消化器系の疾患	338
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	319
感染症および寄生虫症	275
精神および行動の障害	266
神経系の疾患	231
新生物	127
腎尿路生殖器系の疾患	117
損傷,中毒およびその他の外因の影響	98
皮膚および皮下組織の疾患	95
耳および乳様突起の疾患	29
眼および付属器の疾患	9
外来患者延べ患者数	5,770

入院患者主病名ICD-10	
呼吸器系の疾患	302
腎尿路生殖器系の疾患	62
感染症および寄生虫症	47
筋骨格系および結合組織の疾患	32
内分泌,栄養および代謝疾患	28
新生物	12
循環器系の疾患	12
皮膚および皮下組織の疾患	10
症状,徴候および異常臨床所見·異常検査所見で他に分類されないもの	10
神経系の疾患	9
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	8
消化器系の疾患	8
精神および行動の障害	5
損傷,中毒およびその他の外因の影響	2
入院患者延べ患者数	547

島根県立中央病院　〒693-8555　島根県出雲市姫原四丁目 1 番地 1